

セッション 2 国際協力機構運営費交付金(開発教育支援事業)

総合評価

◆事業内容の一部改善

集計結果

・ 現状通り	0名
・ 事業内容の一部改善	6名
・ 事業全体の抜本的な改善	0名
・ 廃止	0名

コメント

事業内容

- 日本に在住する途上国出身者による出前授業を一層進めて頂くことが望ましい。子どもにとって国際化を「実感」できる貴重な機会にもなる。(中谷委員)
- 大学や企業における教育もより積極的に進めて頂きたい。(中谷委員)
- 今後、コロナ禍前に戻るのではなく、オンラインの良さを踏まえ、ハイブリッド方式を積極的に取り入れていただきたい。(青山委員)
- 教育委員会との連携について、地域的な偏りが生じないよう対応していただきたいと思います。(宮本委員)
- 事業を実施していること、及びその事業内容を多くの方に知っていただくことが重要と感じました。そのために有効な取組を進めていく必要があります。(宮本委員)
- 非常に重要な事業だと判断します。今後、益々重要性が増すことを考えると更に多くの国民の理解を深める必要がある。(池田委員)
- 重要性に比してリーチする人数が少ない印象。コロナ禍もあり減少している。コンテンツ、その届け方が従来と大きく変化していないのではないかと感じる。非常な重要なテーマだけに、時代に合った効果的な届け方を開発し、スケールさせることが重要だと考える。(池田委員)
- 国際社会への貢献、国際社会における日本のプレゼンスの拡大、国内における多様性の理解を深める上で、国民全体に海外開発協力の重要性を知ってもらう機会をつくることは極めて重要である。(永久委員)
- 制度などの枠組みではなく、現場の実体験を当事者から直接聞くことが最も感動と理解をもたらす。そのための手段や機会を強化していくべきと考える。(永久委員)
- 小学校から高校に対する取り組みが多いように思われるが、社会に出る直前にある大学生に対する働きかけを授業などとの連携も含め、さらに進めていくべきと考える。(永久委員)
- 目的自体は意義のあるものと思われる。(山田委員)
- 国民への理解が目的ならばオープンにリーチできる動画制作や、時代の変化を鑑み学

生等による動画コンテンツなどにも力を入れるべきではないか。(山田委員)

アウトカム

- 事業規模18.4万人の内訳を明確にしていきたい。(青山委員)
- アウトプットと最終的なアウトカムとの関係性を明らかにすべきである。(永久委員)

調達関係

- 支出先上位10者リストをみますと一者応札が散見されます。何らかの対応は行っていると推測しますが、事案の解消に努めていく必要があります。(宮本委員)